

平成30年度 家庭総合 シラバス(2年生)

概要	科目名	家庭総合	学年	2	履修単位	2
	目標	家庭総合の授業では、自分らしい生き方、保育、高齢社会、食生活、衣生活、住生活、消費者生活などを学習します。家庭を取り巻く環境の変化に対応し、現在の生活や将来の生活を見つめ、各自の生活目標を持つこと。実践的・体験的な学習を通して生活に必要な知識や技術を習得し、各自の生活を工夫・応用していくことができるようになることを目標としています。 今年度では、衣生活、食生活、住生活、高齢社会などを中心に学習していきます。				

学期	授業計画						
	項目	指導事項	時間	指導上の工夫・留意点			
1 学期	家庭総合を学ぶにあたって			・家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、生活の場で生きて働く力となるよう総合的に習得させる科目であることを理解させる。			
	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動		2	・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の意義を理解させ、問題解決への主体的実践的な学習活動であることを理解させる。			
	人の一生と被服	人と衣服		1	・衣服の起源や歴史、風土に適した衣服等の学習を通して衣服とは何か、衣服の役割などを考えさせ、衣生活に関心を持たせる。		
		日本の衣文化		1	・日本の伝統的な衣文化を理解し、暮らしのなかでどう生かしていくかを考えさせる。		
		多様な被服		1	・各ライフステージにおいて、体型や身体の動き、被服の嗜好がどのように変化するかを理解させる。		
		被服の選び方		1	・被服を購入するときの選ぶ基準を考えさせる。 ・品質表示・既製品のサイズ表示を理解させる。		
		被服の着方		1	・被服の材質・デザイン・色柄・イメージを考えて、自分らしさを表現する工夫を考えさせる。		
	被服の製作	被服を観察してみよう		1	・被服がどのように作られているか理解させる。		
		被服製作過程と採寸		15	・既製服と注文服の製作過程の違いを理解させる。 ・被服の機能性を高める要素を考えさせる。 ◎被服製作(エプロン)		
		被服製作用具		1	・被服製作に必要な用具を確認させる。		
被服材料の種類と特徴			1	・自分たちが身に付けている被服がどのような材料から作られているかを理解させる。			
被服材料と管理	衣料用繊維		1	・天然繊維や化学繊維にはどのような特徴があるか理解させる。			
	被服の手入れと保管		1	・汚れの種類、湿式洗濯、乾式洗濯の特徴を理解させる。 ・被服の保管・保存方法について理解させる。			
	洗濯のしくみ		1	・洗剤の働きや洗濯機がどのような力で汚れを落とすかを理解させる。			
	衣生活と資源・環境		1	・環境に配慮した衣生活とはどのように設計すればよいかを考えさせる。			
人の一生と食事	私たちと食事		1	・自分の食生活を振り返り、食事における役割を理解させる。			
	食生活と健康		1	・生涯の健康と食事の関係を考えさせる。			
	食生活の変化		1	・食生活にかかわる情報を適切に判断できるよう理解させる。			
	食生活の文化		1	・食事に関する歴史や行事について学び、理解させる。			
栄養と食品	人体と栄養		1	・栄養素に関する知識を理解する。			
	栄養素の種類と性質		4	・栄養素の種類と働きについて理解する。 ・各食品の調理上の特性について理解する。			
	加工食品・健康増進のための食品		1	・加工食品の種類や利用する際の注意点などを理解させる。			
2 学期	食生活の安全のために	食品の安全と衛生		1	・食中毒を防ぐための注意点や食品添加物について理解させる。		
		食品の選択と保存		1	・食品表示・各種マークが何を表しているかを考え選択する能力を養わせる。		
	食生活をデザインする	栄養バランスのよい食事		1	・健康を保つために必要な栄養素の量を理解させる。		
		ライフステージと食事		1	・ライフステージにおける食事の工夫、食品群の分け方を理解させる。		
		献立作成の手順		8	◎第1回調理実習：親子丼、他1品 ◎第2回調理実習：マーボー豆腐、他2品 ◎第3回調理実習：硬ジューシー、他2品 ◎第4回調理実習：クリスマスケーキ		
		調理の基本		1	・献立を立てる際の手順や栄養バランスを考えさせる。 ・調理法や調理器具についての特徴を理解する。 ・配膳やマナーを身に付けさせる。		
	人の一生と住まい	気候・風土と住まい		1	・各地の気候・風土に、住まいはどのように対応してきたかを理解させる。		
		人と住まい		1	・住まいの機能や間取りについてどのような特徴があるか考えさせる。		
		平面図の活用		1	・平面図からどのような情報が読み取れるかを考えさせる。		
		ライフステージと住まい		1	・将来を見通して、どのような住まいの工夫が必要かを考え、住みやすい住まいについて理解させる。		
住まいのインテリア			1	・自分らしい部屋作りについて考えさせる。			
住生活の計画と選択	快適で健康な住まい		1	・快適な住まいの条件とは何かを考えさせる。			
	住まいの安心・安全		1	・自然災害、人為災害、家庭内事故を防ぐにはどのような対応が必要かを考えさせる。			
	住まいの維持管理		1	・住まいを維持管理するにはどのような点に心がけなければならないかを考えさせる。			
	日本の住宅事情と住宅対策		1	・日本の住宅事情を諸外国と比べ理解させる。			
これからの住生活	住環境とまちづくり		1	・地域社会と住まいのかかわりについて考えさせる。			
	地球環境に配慮した住生活		1	・人と地球に優しい住生活とはどのようなものかを考えさせる。			
高齢期を生きる	高齢期をどう生きるか		1	・高齢者と家族との関係、家族の役割がどのように変化しているかを理解させる。			
	高齢期の生きがいと就労・社会参加		1	・高齢者がどのような社会参加活動を行っているかを理解させる。			
	高齢者を知る		1	・加齢に伴う知力、心身の状態の変化について理解させる。			
高齢社会を支え合う	高齢社会の現状と課題		1	・高齢者の経済生活の課題について考えさせ、暮らしを支える仕組みについて理解させる。			
	高齢者やその家族の支援システム		1	・介護保険制度について理解し、どのような課題があるかを考えさせる。			
	高齢者の尊厳を支える		1	・高齢者を介護する家族の課題について考え、尊厳を支えるケアについて理解させる。			
評価方法	①授業態度 ②定期考査 ③提出物 ④課題 以上を総合的に判断し、評価とする。						
評価 規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解			
	◎授業中のプリントの記入や取り組み姿勢・態度から、家庭生活について関心を持ち、その充実向上を目指して意欲的に取り組んでいる。 ◎実践的な態度を身につけている。	◎授業中のプリントの記入内容や態度、定期考査の結果から、家庭生活について課題を見つけ、適切に判断し、解決方法を考え取り組んでいるか。	◎調理実習等を通して、基礎的・基本的な技術を身につけているか。	◎定期考査の結果を参考にし、家庭生活の意義や役割を理解し、家庭生活の向上に必要な基礎的・基本的な知識を身につけられたか。			